

道小情報・道中だより

新型コロナウイルス感染症に関連した道教委と校長会・教頭会との意見交換会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行われてきた文教施策懇談会・各課懇談会は中止となり、今年度は標記の会議が8月11日(火)、道庁別館及び各教育局会議室にて、北海道教育委員会教育長をはじめ、道教委幹部をはじめとする各担当者、北海道小学校長会・北海道中学校長会の会長、役員、各地区理事、幹事、北海道公立学校教頭会の役員の参加のもと以下の次第で行われた。

<p>1 会長より</p> <p>北海道小学校長会 会長 神谷 敦 北海道中学校長会 会長 鎌田 浩志 北海道公立学校教頭会 副会長 新津 智哉</p>	<p>2 意見交換</p> <p>①教育課程 ②生徒指導 ③教育環境整備</p> <p>3 閉会の挨拶</p> <p>北海道教育委員会 教育長 小玉 俊宏</p>
---	---

1 会長より



北海道小学校長会
会長 神谷 敦

道小として課題ととらえている点について述べさせていただきます。

道小では6月に全道会長研修会を書面で行い、新型コロナウイルスに対する教育課程上の課題について意見を集約しましたところ3つのキーワードが見えてきました。「地域・学校によるばらつき」「学力格差」「新たな学校像の再編成」です。

また、全道の各地区で現在課題となっていることは次の2点です。「失われた学習時間の保障についての具体策」「今後の教育活動の見通しの立て方」です。

これらを踏まえて道小としては次の3点について道教委の今後の方向性について伺いたいと思います。

① 人的支援について

具体的には、少人数学級の早期実現と学習支援員の人材確保です。

② 学びの保障について

オンライン学習環境の整備、ICTを活用した授業を支援する動画の提供、ICT支援員の配置です。

③ 教育の再編成について

感染リスクの高い学習活動や学習指導要領どおりの扱いが困難な内容についての具体的指針及び学校行事のモデルの提示をお願いいたします。



北海道中学校長会
会長 鎌田 浩志

本日は「今後に向けて」という視点で3点、述べさせていただきます。

① ICTの環境整備について

オンライン授業が学びの保障の実現にとって有効な手だてであると考えております。そのためには家庭におけるWi-Fi環境の整備が必要であると考えます。全日中の会議はモバイルルーターにタブレット端末、そこにZoomを稼働させて行っているところですが、先日、その際のデータ通信量を測定したところ、3.5時間の会議で1.5ギガであることが判明しました。モバイルルーターは月当たりの使用量制限があることが一般的であることを考えると、Wi-Fi環境のない家庭におけるオンライン授業の実施は厳しいことが予想されます。各家庭へのWi-Fi環境整備の見通しについて伺いいたします。

② 各学校への通知について

道教委からの通知が報道機関への発表後に各学校に届くことがあり、保護者からの問い合わせ等に苦慮する学校がありました。学校への情報提供がスムーズになるよう改善をお願いいたします。

③ 学校での感染拡大防止について

学校での感染を防止するため、各学校においては新しい生活様式の徹底を図っているところです。職員への新型コロナウイルス感染拡大防止においては、在宅勤務について触れられておりません。特に長期休業中の在宅勤務について御検討いただきますようお願いいたします。



北海道公立学校教頭会

副会長 新津 智哉

道公教は、今年度、1,542人の副校長・教頭によって構成され、創立55周年を迎えます。例年実施しております研究大会につきましては、今年度は中止といたしました。

緊急事態宣言の解除に伴い、万全の感染予防対策を講じ「第1回理事研修会」を開催し、今年度の道公教の具体的な活動の周知とともに、「新型コロナウイルス感染症に係る学校対応と教頭の関与性」をテーマとして情報交流を行いました。交流は、2つの柱「新しい生活様式に対応した学習環境、感染防止措置について」「児童生徒の学力保障のための授業時数確保、教育課程再編成について」で行いました。

全道の各地域・各校の特色に合わせ、教育資源を十分に生かしながらの対応や取組について交流し、それぞれが各地に持ち帰ることのできた、意義あるものとなりました。

本日の会の中でも、教育課程編成や生徒指導、教育環境整備について、多くのことを学びたいと考えております。

2 意見交換

北海道中学校長会 副会長 喜多 敦

現場の状況を報告いたしますと、子供たちは元気であり、対応力があるように感じております。職員は先行きが見えない状況に対し、疲労が積もっているようですので、コロナ対応に関する情報については早めの提供をお願いいたします。今一番気にかかるのは、ネット環境などにおいて地域格差があることです。さらに、スクールサポーターや学習指導員に関しても地方では人材不足の状況であり、地域による格差の広がりや心配なところではあります。

【北海道教育委員会】

早めの情報提供、並びに地域による格差が発生しないように努めてまいります。



北海道中学校長会

副会長 宮澤 知

中体連、旅行的行事が中止、延期となる中、子供たちに寂しさや悲しい思い、つらい思いがあることは否めません。そこで例えば大学生等からボランティアを募り、子供たちの話を聞くことで心のケアに寄与させる施策などを御検討いただ

ければと願います。

次に35人学級の中学校3年間での実現について御検討いただきますようお願いいたします。

小樽市ではインバウンドが減少し、観光業等に従事する保護者が転職せざるを得ない状況となり、子供たちが非常に寂しい思いをしております。そういった家庭への財政的な支援について御検討いただきますようお願いいたします。

最後に、私立高校の入試の範囲について公立高校と同等となるように御検討いただきますようお願いいたします。

【北海道教育委員会】

大学生ボランティアの活用につきましては、道教委としましても各大学に呼びかけを行っているところです。人材の確保につきましては、例えば街の電器屋さん等、普段教育に関わっていない方にも力を貸してもらえよう柔軟に対応いたします。少人数学級については、国においても検討しているところがございますし、道教委としても引き続き実現を目指してまいります。家庭への支援につきましても考えていかなければならない事項として受け止めました。私立高校の入試の範囲については、現在、各高校において検討をしているところであり、対応の際は早めの公表を促してまいります。



北海道小学校長会 理事 大島 朗

長期休業や外出自粛の生活のため小中学生の4人に3人がストレスをかかえている実態があります。対人関係がうまくいかない、不規則な行動などの事例もあり、学びを保障するためには子供の心のケアを大切にする必要があります。今後を想定したカリキュラムを作成することが重要であると考えます。また、今年1年間は感染を防ぎながら子供たちをいかに登校させるかが重要であると述べる学者もいます。感染を防ぐためのルール作り等を子供たちにも考えさせることは、子供の経験にとって大きな意味をもつことになると思います。子供の心のケアについて今後も御支援をいただきますようお願いいたします。

**【北海道教育委員会】**

心のケアは重要な課題であると考えております。道教委としましてもこころの相談センターの周知やスクールカウンセラーの活用をお願いしたいと思います。子供の心のケアについて、現場での実際の事例などがあれば教えていただきたいと思います。

北海道小学校長会 理事 中嶋 治代

年度末から始めにかけて、不登校案件が発生しましたが、教育委員会の指導主事、SSWらが児童のみならず家庭へも支援を行っていただき、現在も継続しているところです。

【北海道教育委員会】

制度の有効利用の実例かと思えます。他の地区でも参考にさせていただけるとありがたいところです。

北海道小学校長会 情報部長 前田 雄

夏休み明けの教職員のコロナウイルス感染状況が心配なところですので、教職員のPCR検査の見通しについて教えてください。

【北海道教育委員会】

基本的には症状のある方が対象となりますので、日頃からの健康管理に留意されるようお願いいたします。また、疑いがあれば保健所等に連絡し、検査を受けてください。

北海道中学校長会 副会長 竹森 茂雄

ICTを活用した授業を実施するための環境整備には専門家の力が必要ですので、御対応をお願いいたします。

修学旅行を実施するにあたり、旅行先での発熱等の体調不良発覚時には専門医の診断、検査を受ける体制の整備をお願いいたします。

【北海道教育委員会】

ICTの推進には様々な課題が出てくると思われますので、できる限り対応いたします。

修学旅行等の出先でのコロナ対応につきましては、まずは事前にマニュアルの整備に力を注いでいただき、さらなる配慮が必要な場合は詳しい状況についてお知らせください。

北海道小学校長会 理事 鈴木 義秋

ポストコロナにおいては以前の環境に戻ることは難しいと考えており、そのためにはICTの整備が欠かせないと思います。本校でも追尾式のWebカメラの活用に取り組んでいるところであります。また、リモート修学旅行の実施についての報道もありました。こういった学習環境の構築のためのICT専門家の配置をお願いいたします。また、1人1台のデバイスで発生するスタディ・ログを校務支援システムでも活用できる仕組みの構築をお願いいたします。

【北海道教育委員会】

各学校には国の補正予算等、コロナ対策の様々な予算が付いておりますので、ICTに対応した機器の購入等に使っていただきたいと思えます。

今回の臨時休業中は各学校のICT環境が必ずしも整っていない中、教職員の皆様が苦勞されてオンライン学習に取り組んでいただいたことに感謝申し上げます。

御存知のように、GIGAスクール構想が今年度中に整備されます。各学校の校内LANについては全ての学校で整備済みです。1人1台の端末については早いところでは9月、遅くとも3月には調達できる見通しであります。調達の前に第3波が来た場合には学習環境の構築の面で対応できないこととなります。その場合は前回同様、今ある資源をもって創意工夫し対応してください。各家庭への支援については、どの市町村でも今回の補正予算でモバイルルーターの整備を進めていると思われれます。実際には動画を用いた授業への参加等はLTE（スマホのデータ通信）では不可能ですので、Wi-Fi環境が必要です。それができない場合は学校や公民館等に来てもらうこととなります。各市町村には可能な限りモバイルWi-Fiの整備を進めるよう伝えております。



コロナ禍において、ICT環境のハード面の整備は進みましたが、教員のICT活用スキルの向上が課題として見えてきましたので、道教委としましては先生方用に授業モデルの作成を進めております。

ICT支援については国の予算措置がされて、各自自治体で任用を進めているところです。課題は実際に地域にICTの専門家がいるのか、そういった方がヘルプデスク的に対応できるのかということなのです。

児童生徒の学習履歴と教職員の校務系のデータのリンクについては、情報の漏洩防止の観点から難しいものと考えますが、要望を受け止め検討を進めてまいります。



3 閉会の挨拶

北海道教育委員会

教育長 小玉 俊宏



コロナウイルス対応におきまして、健康と安全を守りつつ、学びの保障に尽力いただいていますことに感謝申し上げます。本日いただいた貴重な意見を参考にさせていただきます。

「早めの情報提供」につきましては、内容のわかりやすさを保ちつつ早期の提供に努めてまいります。

スクールサポートスタッフや学習指導員の予算については有効に利用してほしいと思います。

教師のPCR検査については関係部署に伝えていきたいと思っています。

修学旅行の実施にあたっては行き先の保健福祉部局と連携が図られるようお願いしていききたいと思います。

ICT環境の整備については、前例にとらわれずトライしてほしいと思います。また、そのための補正予算を有効に活用してほしいと思いますし、人材の確保にも力を注いでほしいと願います。

今後も、是非、多くの御意見を寄せていただければと思います。本日はありがとうございました。

出席者

◆北海道教育委員会

教育長	小玉 俊宏
教育部長	志田 篤俊
学校教育監	赤間 幸人
総務政策局長	池野 敦
学校教育局長	小松 智子
学校教育局指導担当局長	山本 純史
学校教育局義務教育課長	川端香代子
学校教育局義務教育課地域連携担当課長	濱中 昌志
学校教育局生徒指導・学校安全課長	伊藤 伸一

◆北海道小学校長会

会長	神谷 敦
副会長	木村 俊夫
副会長	橋本 彰
副会長	角田 昌宏
副会長	阿部 秀智
副会長	森田 穰
副会長	林 貞年
事務局長	吉田 信興
事務局長次長	紺野 高裕

事務局次長	石川 一美
会計理事	松村 隆志
地区理事(経営部長)	三浦 卓也
地区理事(対策部長)	品田 和輝
地区理事(情報部長)	前田 雄
地区理事	大島 朗
地区理事	菅原 伸介
地区理事	土井 嘉啓
地区理事	鈴木 義秋
地区理事	中嶋 治代
地区理事	近藤 康
指名理事(へき・複連)	温泉 敏
指名理事(道特協)	三戸 奉幸
事務局・経営部副部長	磯島紀代恵
事務局・研修部副部長	森田 智也
事務局・対策部副部長	西村 裕子
事務局・情報部副部長	四戸 基樹
事務局・情報部	村上 智樹
事務局・情報部	佐々木 雅哉
事務局・情報部	銭谷 美毅

◆北海道中学校長会

会長	鎌田 浩志
副会長	宮澤 知

副会長	竹森 茂雄
副会長	喜多 敦
事務局長	木村 佳子
事務局次長	三浦 利章
会計理事	黒川 裕之
地区理事(経営部長)	三浦 崇史
地区理事(対策部長)	二本柳千尋
地区理事	神成 浩
地区理事	垣内 孝仁
事務局・経営部副部長	佐藤 誠
事務局・研修部副部長	笹川 恒春
事務局・対策部副部長	井村 信
事務局・情報部副部長	伊藤 博明
事務局・情報部	立花 和実
事務局・情報部	山田 誠一

◆北海道公立学校教頭会

副会長	新津 智哉
副会長	加藤 数馬
副会長	工藤 智
副会長	内山 勇一
副会長	今野 典之
事務局次長	寺嶋 裕介

発行者

北海道小学校長会長 神谷 敦
 北海道中学校長会長 鎌田 浩志

道小事務局

札幌市中央区北5条西6丁目 第二北海道通信ビル306号室
 電話 011-218-9850 F A X 011-218-9851

道中事務局

札幌市中央区北1条西3丁目 敷島プラザビル4F
 電話 011-251-1344 F A X 011-251-1302

編集

道小情報部・道中情報部